

没年調査ソンとは



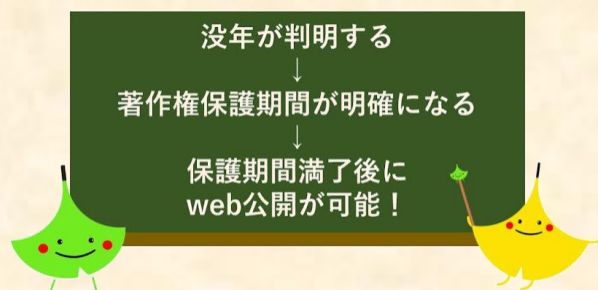
「没年調査」+「ソン」…「没年調査」と「マラソン」を掛け合わせた造語
マラソンのように黙々と、短時間で集中してみんなでひたすら没年調査を行うイベント

2016年9月に京都府立図書館を会場にして初開催

2024年開催分までで、約470件の生年あるいは没年が判明(ししまろはん主催分のみ)

自主学習グループ「ししまろはん」によるオープンアクセス化活動のひとつ

意義・目的 NDL(国立国会図書館) デジタルコレクション(以下「デジコレ」)には、没年が不明であるために著作権の保護期間が確定できない著作者による資料が多数存在する。イベントで調査することで没年を特定し、著作権の保護期間が満了後の資料をパブリックドメイン(誰でも使える資料)として公開できる。



「没年調査ソン」は、いわば、
文化共有のためのワークショップ

調査方法 図書館資料(郷土資料、参考資料、雑誌紀要等)、新聞データベース、インターネット情報などを利用して調査。確かな資料による裏付けが必要。

調査リスト デジコレの著作者で没年が不明あるいは調査が行われていない著作者が対象。イベントに応じて「京都にゆかりのある著作者」「図書館にゆかりのある著作者」などのテーマ設定をしている。

開催地 ししまろはん本拠地の京都で毎年開催するほか、これまでに福井、神奈川、東京などでも開催。

人気の秘密 「役に立つ」…地域の図書館の資料が役に立つ。レファレンス技術の向上に役立つ。没年が判明する(=著作権の保護期間が特定される)と未来の人類に役立つ。
「楽しい」…調べるのが楽しい。調べてわかると楽しい。みんなで調べると楽しい。(参加者より)

テーマソング「没年調査ソンのワルツ」 没年調査ソンの意義や楽しさをわかりやすく伝える歌。

イベント終了時などはみんなで聞きながらクロージング。YouTubeで公開中! →



合言葉は「ナイスソン!」 没年が判明した時には「ナイスソン!」と声をかけあう。イベントの

楽しさのひとつ。ちなみに、存命と判明した場合は「何より!」と声かけします。

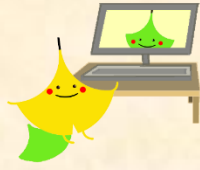
次は、あなたも一緒に **ナイスソン!**



没年調査ソンヒストリー



※特に記載のない場合、ししまろはん主催
(主会場:京都市立図書館)で開催

2016年9月	没年調査ソン in 京都 Vol.1 参加12人、対象リスト「京都にゆかりの著作者」 生没年判明18人、保護期間満了1人	未来につながる大いなる第一歩! 最初の調査対象リストは2514人、A4で31ページ!リストを見るだけで大変!
2017年9月	没年調査ソン in 京都 Vol.2 参加11人、対象リスト「京都にゆかりの著作者」 生没年判明32人、保護期間満了1人、インターネット公開1件	会場が京都市立図書館「ナレッジベース」に。壁面ホワイトボードに判明事項を書いていくのが楽しい!
2018年3月	LOD チャレンジ 2017「オープンサイエンス賞」受賞	
2018年5月	没年調査ソン in 福井 (第1回) 会場:福井県立図書館 主催:チーム福井ウィキペディアタウン	ししまろはん以外、京都以外で、初開催!
2018年9月	没年調査ソン in 京都 Vol.3 参加15人、対象リスト「京都にゆかりの著作者」 生没年判明58人、保護期間満了1人	「没年調査ソン」ロゴマーク誕生!(開催後に参加者が作成)
2018年12月	TPP 発効により著作権保護期間が70年に延長	
2019年10月	没年調査ソン in 京都 Vol.4 参加19人、対象リスト「京都にゆかりの著作者」 生没年判明32人、保護期間満了1人、インターネット公開1件	常連・ベテラン参加者のほか、図書館員以外の「調査好き」の参加者も増加。
2020年2月	没年調査ソン in 神奈川 (第1回) 会場:神奈川県立図書館 主催:没年調査ソン in 神奈川実行委員会	東日本で初開催!(以後継続的に開催) 存命確認時のかけ声「何より!」誕生
2020年3月	新型コロナウイルス感染拡大のため、没年調査ソン in 京都 Vol.5 の開催を延期	京都市立京都学・歴彩館で開催予定
2020年11月 	没年調査ソン オンライン&リモート Vol.1 参加26人(神奈川サテライト含む)、対象リスト「図書館にゆかりのある著作者」、生没年判明51人、保護期間満了1人 LINE オープンチャット「没年調査ソン on LINE」開設	Zoom でつないで開催。 調査対象リストを Google スプレッドシートで共有。 「没年調査ソンのワルツ」公開 オンラインで「ナイスソン!」を送り合うために開設→その後、没年調査ソンに関する情報・知識の共有、交流の場に オンラインでの没年調査に大きな威力!
2021年1月	デジコレで全文検索が可能に!	
2021年11月	没年調査ソン オンライン&リモート Vol.2 参加20人、対象リスト「図書館にゆかりのある著作者」 生没年判明31人、保護期間満了2人	サテライト設置なし。 距離の壁を越えて海外から参加あり!
2022年5月	デジコレ個人送信サービススタート	これまで図書館送信を確認していたのが、各個人で検索できるように...
2022年11月	没年調査ソン オンライン&リモート Vol.3 参加13人、対象リスト「図書館にゆかりのある著作者」 生没年判明35人、保護期間満了4人、インターネット公開4件	図書館総合展のオンラインイベントとして開催 「ソン長」(没年調査ソン長)爆誕!
2023年12月	(東京都立図書館) ショートセミナー「没年調査ソン〜デジタル化資料のインターネット公開をめざして〜」	新たなスタイルでの開催 その後継続して開催。in 京都 Vol.6 ではサテライト会場として設定予定でした。
2024年3月	没年調査ソン in 京都 Vol.5 参加15人、対象リスト「京都にゆかりの著作者」 生没年判明104人、インターネット公開12件	初のハイブリッド(会場+オンライン)開催。神奈川にサテライト会場を設定。 調査時間の拡大、「ガチ勢」の参加などで生没年判明100人超え!
2024年8月	没年調査ソン in 京都 Vol.6→没年調査ソン Week 台風接近のため会場開催中止。各自が1週間ほど調査する「没年調査ソン Week」開催へ。対象リスト「京都にゆかりの著作者」 生没年判明123人、保護期間満了1人、インターネット公開1件	「ナイスソン!」の上位概念で「ベリーナイスソン!」登場 スプレッドシートでコメント共有欄を作成し、調べ方の参考に。
2025年8月	没年調査ソン in 京都 Vol.7 参加30人、対象リスト「京都にゆかりの著作者」 生没年判明207人→NDL 著作権処理係で確認・処理中	過去最高の前年を大幅に上回り、著作権処理係が悲鳴をあげるのでは...というほどの判明数に。

これまでの成果(ししまろはん主催分)

2016年~2024年の累計:没年判明386件、生年のみ判明82件→資料19点がインターネット公開に

そして、2026年。没年調査ソンは10周年を迎え、新たなステージへ...?

